



～たじみ産夏野菜レシピ～ れんこんのえび挟み焼き

問 保健センター 西尾(淑) TEL 23-5025

エネルギー
1人分148kcal
食塩相当量 0.7g
野菜量 65g



～れんこんの効能～

れんこんの主な成分はでんぷんで、ビタミンCも含んでいます。ビタミンCは熱に弱い栄養素ですが、でんぷん質が多いことから加熱しても残る量も多く、疲労回復や風邪の予防などの効果が期待できます。また、皮膚や粘膜を健康に保つ働きがあり、抗酸化作用や免疫力アップの働きがあります。食物繊維も豊富で、整腸作用や肥満予防の効果や、カリウムも含まれているので、血圧の上昇を抑え、高血圧予防に効果が期待されています。

〈材料/4人分〉

- ・レンコン……………小1節
 - ・むきエビ……………250g
 - ・ショウガ……………1片
 - ・片栗粉……………大さじ1
 - ・油……………大さじ1・1/2
 - ・添え野菜……………水菜2株、パプリカ1/4個
- A
- ・酒……………大さじ1
 - ・塩……………小さじ1/5
 - ・片栗粉……………大さじ3

〈作り方〉

- ① れんこんは皮をむいて、3mmの輪切りに24枚切り、酢水(分量外)にさらして水気をきる。残りのれんこんはみじん切りにする。
- ② むきエビは少量の塩と片栗粉(分量外)でもみ洗いして水洗いし、包丁でたたいて粗いミンチにする。おろした生姜とれんこんのみじん切り、Aを混ぜる。
- ③ れんこんの水気をふき、片栗粉を薄くまぶす。
- ④ ②のミンチを12等分にして、2枚のれんこんで挟む。
- ⑤ フライパンに油をしいて、両面焼き、中まで火を通す。
- ⑥ 食べやすく切った添え野菜を皿に敷き、⑤を盛りつける。

土岐川観察館の自然だより

青と緑の物語

問 土岐川観察館 TEL 21-2151

土岐川の水害

9月は台風や秋の長雨のシーズンです。多治見市内でも過去には何度も堤防決壊や大規模な浸水、橋の流失などの被害が発生しています。

記録が残っている災害年表や災害記録などから、1850年以降に多治見市内で大規模な被害が発生した事例をみると、平均して25年間で6.3回、約4年に1回起きています。昔は今ほど資料が残されていないことから、もっと多いかもしれません。

昔の土岐川は現在と比べて大きく曲がりくねっていましたが、1932年から4年間かけて川の流れをまっすぐにする工事を行ったそうです。

(池田町屋郷土資料館ホームページより)

その後、被害の発生回数は減ってきていますが、戦



▲土岐川の決壊・大規模浸水等の発生回数

後の国土の荒廃や巨大台風などが相次いで襲来した1950～1974年はむしろ増えています。

多治見での水害は減る傾向にあるものの、最近、毎年のように国内各地で発生する大規模な河川での氾濫・決壊は、過去に例がないほど大量の雨が流域に降ったことが原因とされています。その一因として地球温暖化などによる海水温の上昇もあげられています。

過去に岐阜県内で大雨をもたらした災害も南から暖かく湿った空気が大量に入り込んでいる事例が多いです。海水温が上がると、水蒸気の量がさらに増えるため、これまで想定されなかったような大雨になるかもしれません。

十分な備えが必要です。

(文 多治見気象の会 吉田信夫)



▲過去に岐阜県で大雨をもたらした事例

市民病院 だより

地域と共に考える医療

市民病院 TEL 22-5211



初期臨床研修医
伊藤吉貴



今年4月から、初期臨床研修医として医師人生をスタートさせました伊藤吉貴と申します。私は、28年前に多治見市民病院で生まれ、多治見市で育ちました。名古屋市立大学医学部を卒業後、自らが育った地で働きたいという思いから、多治見市民病院での研修を希望しました。縁があり、自分の生まれた病院で研修が始められることは大変感慨深くもあり、期待に胸を膨らませながら、初日を迎えました。

検査をして、原因となった病気を診断し、今後の治療に繋げていくのですが、机上での学習と実際の現場とは全く異なっており、とても大変で何度も心が折れそうになりました。また、検査の結果や診断今後の治療方針を患者さんに説明していく際に、うまく説明することができなくて指導医の先生の手を借りることもありました。その都度、周りからいただいた様々なアドバイスを糧にして一歩一歩前進しています。

7月からは内科で研修し、主に病棟での入院管理について学んでいます。初めての入院患者さんが退院した日に感謝の言葉をいただけ、喜びとともに、この仕事にやりがいを感じました。

まだ数ヶ月しか経過していませんが、指導医の先生方からは非常に熱心に指導していただき、一歩ずつ成長してきていると感じています。また、同期とも切磋琢磨しながら日々修練に励んでいるところです。

まだまだ発展途上の私ですがこれからどんどん知識や技能を習得していき、一人前の医師になれるように努力してまいります。地域に愛される病院の一員として優しい医療を提供していきたいと思っております。どっぞよろしくお願いたします。

子どもの権利を考えよう

子どもたちの声を届ける 第22回たじみ子ども会議より

問 くらし人権課・水野

TEL 22-1128

令和元年12月15日に、「第22回たじみ子ども会議」を開催しました。この時、子どもたちが話し合った内容を「たじみ子ども会議☆たじみ子どもスタッフ」が意見書としてまとめ、8月に市長へ提出しました。今回は意見書の内容を取り上げてみたいと思います。

◆1.5往復以上の会話を心掛けよう

子ども会議では「1.5往復以上の会話」というキーワードが出てきました。普段の会話を思い浮かべてみてください。例えば親から子どもに「今日学校は楽しかった?」と尋ねると、子どもは「楽しかったよ」などと答えると思います。これで会話が終われば、「1往復」の会話となります。子どもからの答えに対し「よかったね、どんなことが楽しかったの?」など、さらに言葉を返すことで1.5往復以上の会話が生まれます。

◆デジタル時代の今だからこそ

子どもたちからこのような意見

が出された理由として「スマートフォンやSNSの普及が直接対話する時間を奪っているのではないか」という素朴な疑問がありました。家庭や学校などで、家族や友人と対面したときの何気ない会話を大切にしたいと子どもたちは感じているようです。そんな日常的なコミュニケーションを広げるためにも「1.5往復以上の会話を心掛けたいと感じます。」

◆会話の内容にも意識を向けて

このほかにも、意見書の中には「感謝」「応援」「ほめる」など、嬉しいような言葉をかけてほしいという意見がありました。「ありがとう」といわれるれば、誰もが嬉しい気持ちになりますよね。子どもたちも直接温かい言葉をかけてもらうことで、健やかに成長できるのだと思います。このコラムにより、少しでも温かい言葉がけが増えることを願っています。

シリーズ
Vol.108



2



3



1

7月20日(月) 大地震等発生時に被害を最小限にとどめるため、災害対策本部設置訓練を実施。
1 災害対策本部設置訓練の様子 **2** 被災状況の報告を受ける本部連絡員 **3** 訓練の総括を行う市長「平時の議論、有事の団結」



4



5



6

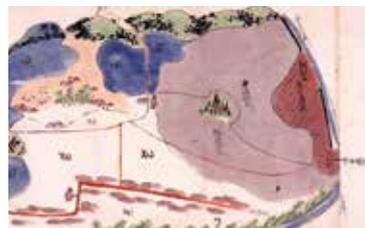
新型コロナウイルス感染症対策として
いただいた寄付を紹介します。



7月7日(火)
トーヨー印刷株式会社

7月14日(火) 暑いまちたじみのまちおこしとして株式会社華柳により行われている「オリベ空中スイカ」の取り組み。

4 5 取り組みに参加している老舗料亭松正で行われた試食会の様子 **6** 本町オリベストリート周辺では4年前より空中スイカ栽培に挑戦。ながせ商店街・駅前商店街でも32鉢栽培され、駅から歩いてスイカ見学が楽しめます。



上.江戸後期「多治見村堤切所泥水入所初絵図」:鍵形に描かれた下街道。下.昭和9年(1934):多治見橋側から見た本町通り 右奥の白い建物は十六銀行(現アルティジャーノ)

絵葉書【多治見名勝 本町通り】明治末～大正初期:本町通りの東側から多治見橋の方向を撮影。電信柱・電力柱が立ち並ぶ通りは、当時、多治見の中心地であった。

本町オリバストリートの変遷

多治見橋南から東へと伸びる本町オリバストリート。

以前は「本町通り」と呼ばれていたこの道は、恵那市の榎ヶ根峠から分岐して名古屋へ続く「下街道」の一部でした。もともとは、右上の絵図に描かれているような鍵形の道でしたが、明治21年(1888)の市区改正により、現在のまっすぐな通りとなりました。

下街道は、名古屋までの距離が中山道より四里ほど短く、山道も比較的少なかったため、江戸時代には善行寺参りや伊勢参りの人々によく利用されてきました。この通りにも、江戸の頃から既に人家が点在していましたが、明治以降は大きな陶器商や宿屋が立ち並び、多治見町の中心地となりました。荷物や焼き物を載せた馬車がひっきりなしに往来するため、通りは馬糞でいっぱい、雨が降るとそれはもう大変なことになったそうです。

現在は、多治見の主要観光地のひとつとなった本町オリバストリート。陶器の小売店、骨とう品店、ギャラリーなどが並び通りは、まち歩きを楽しみむら々にぎわっています。



<現在の本町オリバストリート>

人口と世帯数の動き

2020年8月1日現在

総人口

109,812人 (前月比 +51人)

男 53,475人 (前月比 +31人)

女 56,337人 (前月比 +20人)

世帯数

47,275世帯 (前月比 +71世帯)

文化財みつけた

もとさん が ね

元三ヶ根7号古墳

高田町 共栄公園内



この古墳は明和町地内で発掘された直径約12mの円墳です。かつては高さ3m程あったと推定されます。古墳内からは耳環(イヤリング)や刀、須恵器や土師器などの土器も見つかりました。これらの土器から6世紀末～7世紀初頭まで使われ、2～3人が埋葬されていたと考えられます。現在は共栄公園内に移築・復元されています。

多治見
が舞台!

マンガ「やくならマグカップも」

テレビアニメ化
決定!!

2010年に市の有志と企業が集まりスタートした”街を元気にしよう”というプロジェクト。その一環として、2012年に創刊したフリーコミック「やくならマグカップも」がテレビアニメになります。

「やくならマグカップも」は、地場産業である「美濃焼」をテーマに4人の女子高校生が繰り広げる陶芸ストーリー。主人公の豊川姫乃とよかわ・ひめめのは、脱サラした父親とふたりで、幼い頃に亡くなった母の故郷、岐阜県多治見市に引っ越してきます。高校の陶芸部に入部した姫乃は、陶芸の魅力にのめりこんでいきます。

マンガ同様、アニメの中には皆さんの見慣れた風景が数多く登場します。例えば、主人公の父親が喫茶店を営営する本町オリベストリート、通学路となっている多治見橋や宮前町、ながせ商店街。あなたのお気に入りのあの場所やあの食べ物も登場するかも…。

地元関係団体が連携し、協議会として応援します。

今後の動きにご注目ください。



問 産業観光課
TEL 22-1250

